１ページ表紙

公園の写真の上に重ねるように

「小柴自然公園ＫＯＳＨＩＢＡＳＨＩＺＥＮＰＡＲＫ」の文字

ページの下の方に「令和５年９月横浜市環境創造局」

１ページ表紙エンド

２ページ

（第1 期エリア園内図のイラストでページ右側を大きく使っている。右端には「公園種別：広域公園面積：約55.8ha（第1期エリア面積：約12.5ha）」の情報と、7つのピクトグラムやマーク各々の説明書きがある。上から順にトイレ、駐車場、自転車駐輪場、バイク駐輪場、水飲み場、自転車走行可能ルート、園路。園内地図上に記されたいる）

小柴自然公園のなりたち現在のなりたち

写真＝返還直後の基地ゲートと場内（現在の遊具広場付近）の写真

小柴自然公園は、旧在日米軍小柴貯油施設の跡地を公園として整備したものです。小柴貯油施設は、もともとは旧日本軍の貯油施設として整備され、戦後、在日米軍に接収され使用されてきました。

地域の皆様と横浜市の長年にわたる活動がみのり、平成17 年に国に返還されました。返還後は、施設内に残された豊かな緑を残しながら都市公園として活用する方針とし、平成26 年に（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画を策定しました。その後、平成29 年に都市計画決定を経て着工しました。広大な敷地であるため、3 期に分けて整備を進めています。

小柴自然公園（第1 期エリア）の特徴/(今回開園する第1 期エリアは、南北約1km の平坦な地形が特徴のエリアです)

・遊具広場

写真＝車いすのまま乗れる遊具とスロープ付き遊具の写真

障害の有無などにかかわらずすべての子どもたちが一緒に遊べることを目指した、

横浜市で初めての「インクルーシブ遊具広場」です。障害のある方や専門家のご意見をもとに、車いすのまま使える遊具などを整備しています。様々な難易度や特徴をもった遊具を配置し、それぞれの子どもがお気に入りの遊具を見つけられるようにしています。また、トイレや休憩スペース、外周の飛び出し防止フェンスなど、遊具以外の施設についても仕様を工夫しています。

・多目的広場（遊具広場から撮った写真付き）

広さ約140m× 約70m のグラウンドです。ソフトボールなどのスポーツや地域の活動に利用できます。

・草地広場

広さ約1ha の広々とした「原っぱ」です。のびのびと過ごすことができます。

・海食崖（草原広場の写真と、海食崖と待受擁壁の写真付き）

園地の西側に続く崖は、波の浸食によってできた海食崖で、ここがかつて海であったことを示しています。小柴自然公園では、崖の下に待受擁壁（落石などを止める土塁）を整備することで、崖を自然のまま安全に保全しています。

２ページエンド

３ページ

・開園までの主な出来事

昭和23年10月旧日本海軍の施設が米軍により接収

平成16年10月日米合同委員会において返還の方針が合意

平成17年12月小柴貯油施設の陸地部分全域と制限水域の一部が返還

平成18年6月米軍施設返還跡地利用指針を策定

平成19年3月横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画を策定

平成20年3月小柴貯油施設跡地利用基本計画（都市公園利用）を策定

平成26年7月（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画策定

平成29年7月都市計画決定工事着手

令和3年7月第1期エリアの一部（約1.5ha）を小柴自然公園として公開

令和5年9月（今回）第1 期エリア公開

・交通アクセス（横に案内図。国道357号と金沢シーサイドラインの路線図が案内図右（北東）側にある。また、幸浦駅と幸浦ＩＣの場所が記されている。小柴自然公園の地域イラストが左（西）側にある。公園地域上には「約55．8ｈａ」の文字と、今回開園範囲が示されたいる。因みに今回の開園範囲は駅（北東）側に位置する部分）

所在：横浜市金沢区長浜116-2

金沢シーサイドライン「幸浦」駅より徒歩約10 分

市営バス321 系統「長浜ホール前」徒歩1 分

有料駐車場66 台

・お問い合わせ

公園の整備に関すること

環境創造局公園緑地整備課

電話番号045-671-4611

アドレスks-koenseibi-t@city.yokohama.jp

公園の管理に関すること

環境創造局南部公園緑地事務所

電話番号045-831-8484

アドレスks-nambukoen@city.yokohama.jp

・（３次元バーコードがあり、右横に「小柴自然公園の詳細はホームページをご覧ください」の文言）

・（「GREEN×EXPO2027」のマークの横に「横浜で初めての万博となる2027 年国際園芸博覧会の開催に向けて、横浜市では引き続き、豊かな水・緑環境をはぐくみながら「住みたい、住み続けたいまち 横浜」を目指し取り組んでいきます。」の文言）

３ページエンド